

第一編

死亡・障害事例と 事故防止の留意点

第一編の利用に当たって

- 1 本編は、平成24年度に独立行政法人日本スポーツ振興センターが「死亡見舞金」「障害見舞金」「供花料」を支給した全事例496件を整理、分類し、統計的に死亡、障害の発生の傾向を示すとともに、発生状況を掲載した。平成24年度に医療費を給付した負傷・疾病（継続給付分を除く）件数については、第二編の掲載とした。
- 2 構成は、「死亡編」「障害編」「供花料編」の3編に分け、それぞれの事例を掲載した。
- 3 「供花料」における支給対象事例とは、学校の管理下における死亡で、損害賠償を受けたこと等により、死亡見舞金が支給されなかった災害事例のことである。
- 4 学校種は、「小学校」「中学校」「高等学校・高等専門学校」「特別支援学校」及び「幼稚園・保育所」に分類した。
- 5 事例は、「各教科等（含保育中）」「特別活動（除学校行事）」「学校行事」「課外指導」「休憩時間」「寄宿舎にあるとき」「通学中（通園中）」での事故に分類した。なお、道徳・自立活動・総合的な学習の時間については編集の都合上、各教科等を含め、また、学校行事は通常であれば、特別活動に含まれるが、特に事例が多いため別立てとした。
- 6 「学校生活における事故防止の留意点」を掲載した。本書が平成24年度における死亡、障害を対象としているところから、この範囲の事例について述べるとともに、学校で日ごろ留意すべき点について、以下の先生方に執筆を依頼した。

学校生活における事故防止の留意点

- | | | | |
|--------------------------|---------------|-----|---------|
| (1) 小学校編 | 東京都世田谷区立塚戸小学校 | 校長 | 永山 満義 氏 |
| (2) 中学校編 | 国立大学法人東京学芸大学 | 教授 | 渡邊 正樹 氏 |
| (3) 高等学校・高等専門学校及び特別支援学校編 | 東京女子体育大学 | 教授 | 戸田 芳雄 氏 |
| (4) 幼稚園・保育所編 | 福岡大学医学部看護学科 | 准教授 | 小柳 康子 氏 |

- 7 事例の内容については、個人情報に触れることがないよう、学校名、個人名、地名等は除いた。なお、欄の記載内容はそれぞれ次のとおりである。

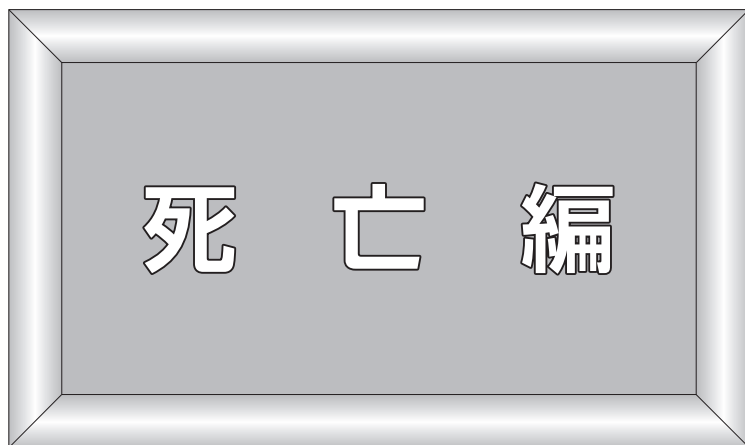
【死亡編・供花料編】

事例番号	被災時学校種学年・性別	死 因
------	-------------	-----

【障害編】

事例番号	被災時学校種学年・性別	障害種類別名
------	-------------	--------

(複数の症例の場合は、一番重い症例)



I 学校の管理下の死亡の状況

◇ 学校の管理下の死亡の発生件数（平成24年度 給付対象事例）

表一 場合別の発生件数

○は突然死数

場 合		競技種目	小学校	中学校	高等学校・ 高等専門学校	特別支援学校	幼稚園・ 保育所	総計					
各教科等	体育（保健体育）	持久走・長距離走			1	①		1					
		準備・整理運動	1	①				1					
保育中							6	②	6				
特別活動（除学 校行事）	学級（ホームルーム）活動		1	①					1				
	給食指導		1	①					1				
学校行事	その他儀式的行事		1	①					1				
	競技大会・球技大会	バスケットボール				高	1	①	1				
	遠足				1	①			1				
	修学旅行			1	①	高	1	①	2				
	その他				1	①			1				
課外指導	体育的部活動	サッカー・フットサル		1	①	1	①		2				
		テニス（含ソフトテニス）		1	①	1	①		2				
		野球（含軟式）				1			1				
		ラグビー				1			1				
		登山				1			1				
	文化的部活動				1	①			1				
	水泳指導	水泳	1						1				
その他	持久走・長距離走	1	①					1					
休憩時間	休憩時間中		1	①		1			2				
	昼食時休憩時間中		2	①	1	①			3				
	始業前の特定時間中		1	①					1				
	授業終了後の特定時間中		1						1				
寄宿舎にあるとき					2	①	高	2	②	4			
通学中	登校（登園）中		1	①	2		3			6			
	下校（降園）中		1		2		1			4			
	通学に準ずるとき				1	①				1			
総 計			13	⑨	8	④	17	⑧	4	④	6	②	48

表二 死因別の発生件数

死因別	学校種別	小学校	中学校	高等学校・ 高等専門学校	特別支援学校			幼稚園・ 保育所	総計
					小	中	高		
突然死	突心臓系	4	3	2			2		11
	突中枢神経系	3		3				1	7
	突大血管系	2	1	3			2	1	9
	小 計	9	4	8	0	0	4	2	27
頭部外傷	1		1						2
溺死	2		1					1	4
頸髄損傷		1							1
窒息死（溺死以外）	1							3	4
内臓損傷		1	1						2
熱中症				3					3
全身打撲		2	3						5
総 計		13	8	17	0	0	4	6	48

表三 男女別の発生件数

	小学校	中学校	高等学校・ 高等専門学校	特別支援学校			幼稚園・ 保育所	総計
				小	中	高		
男	5	4	11			3	3	26
女	8	4	6			1	3	22
総 計	13	8	17	0	0	4	6	48

1 小学校における死亡の事例

〔Ⅰ〕各教科等

(1) 体育（保健体育）

①準備・整理運動

24死-1	小6年・男	突心臓系
-------	-------	------

本児童は、既往症があり学校生活管理指導表のもと、全ての運動を中止するのではなく、息切れしない程度に参加することが許可されていた。体育の授業中、担任指導のもと、準備運動のランニングを始めた。1周目を走り終えたところで担任は休むように指示をした。他の児童と走っていた担任に、本児童が朝礼台付近で倒れているという連絡があり、急いで走っていくと意識がなく呼吸が少なかった。心肺蘇生を行い、病院に搬送した。その後、通院を続けていたが、数年後に症状が悪化し死亡した。

〔Ⅱ〕特別活動（除学校行事）

(1) 学級（ホームルーム）活動

24死-2	小1年・女	突大血管系
-------	-------	-------

学級活動で、全員で小運動場に出て鬼遊びをしていた。始めて2分くらい経ったときに、本児童が担任のところへ寄ってきて抱きつきしゃがみこんだ。その後、担任が抱えて保健室に連れていく途中で意識を失い、失禁した。保健室に運び心肺蘇生を行い、病院に搬送したが同日死亡した。本児童に既往歴はなかった。

(2) 給食指導

24死-3	小6年・女	突中枢神経系
-------	-------	--------

午前中は、いつもと変わらない様子で過ごしていた。給食を食べていると、「頭がくらくらする」と訴えたため検温すると、34.9度であった。友達に付き添われて保健室に行く途中で嘔吐する。その後、右前額部の痛みを訴え、保健室のベッド休養していたが、一時間後に容態が急変したため、病院に搬送。入院治療を続けていたが、数ヵ月後に死亡した。

〔Ⅲ〕学校行事

(1) その他儀式的行事

24死-4	小2年・男	突中枢神経系
-------	-------	--------

体育館での終業式で立って校歌を歌った後、座って校長の話聞いた。しばらくして、座ったままの状態にくしゃみのような咳をし、泡（唾液）を吐き意識が朦朧となった。異変に気づき、意識障害ありと判断し、救急車を要請、病院で治療を受けていたが、数日後に死亡した。

〔Ⅳ〕 課外指導

(1) 水泳指導

①水 泳

24死-5

小1年・女

溺死

夏季休業中、低学年プール指導の際の自由プールの時間、教員が水面にうつ伏せで浮かんでいる本児童を発見した。意識はなく、すぐに心臓マッサージ、人工呼吸、AEDを試みる。救急隊到着後、病院に搬送、集中治療室で治療を受けていたが、翌日死亡した。

(2) その他

①持久走・長距離走

24死-6

小6年・女

突大血管系

校庭で、駅伝練習の課外活動中、1,000mを走り終え、15m程度歩いた後倒れた。すぐに病院に搬送、治療を受けたが、翌日死亡した。

〔Ⅴ〕 休憩時間

(1) 休憩時間中

24死-7

小5年・女

突中枢神経系

休み時間中に、本児童と同じクラスの他の児童が運動場で鬼ごっこをして遊んでいた。本児童が鬼であったが、途中で追いかけてこなくなったため、おかしいと思った他の児童が振り返ると、本児童が仰向けに倒れていた。運動場にいた教員に助けを求めた。倒れる様子を見た者はいなかった。養護教諭が駆けつけ、意識はないが、呼吸、脈拍は正常であったことを確認した。すぐに、病院で治療を受けたが、本児童は既往症があり、数週間後に死亡した。

(2) 昼食時休憩時間中

24死-8

小4年・男

窒息死（溺死以外）

昼休み、運動場で雲ていをして遊んでいた。自分のパーカーの袖を雲ていに結びつけた状態で遊んでいると、パーカーが首にかかってしまい、ぶら下がった状態になった。すぐに、病院に搬送し、治療を受けたが数日後に死亡した。

24死-9

小5年・男

突心臓系

本児童は昼休みサッカーをするために、友達4人とグラウンドに出ようとしていた。グラウンドに出る直前、足がふらつき「もうダメかも」と言ってその場に倒れた。その際、右側頭部を地面に打ち、かけていた眼鏡によってこめかみ付近に小さな裂傷を負い、仰向けに倒れた。直ちに心肺蘇生を行い、医療機関に搬送、治療を受けるが、同日死亡した。

(3) 始業前の特定時間中

24死-10	小5年・女	突心臓系
--------	-------	------

本児童は、持病があり保護者の車で登校していた。3階の教室へ向かう途中の2階踊り場で座り込んでいた。通りかかった他の児童が声をかけ職員室へ連絡に来た。担任と同学年担任が駆けつけると、手すりにつかまりながら4～5段上へ上ろうとしていて、つらそうだったので踊り場へ座らせた。どうしたか尋ねると「首が痛い」と答えた。保護者に連絡を取り、家での朝の様子は、普通だったとの事でかかりつけの病院へ搬送することにする。養護教諭も駆けつけ、やや意識が朦朧とした感じがあり、顔色も白く、ぐったりした様子で、立ち上がるのも難しい状況であった。病院に搬送後、集中治療室で治療を受けたが、数週間後に死亡した。

(4) 授業終了後の特定時間中

24死-11	小1年・女	頭部外傷
--------	-------	------

5校時終了後に行った全校集会以降、保護者より依頼のあった待機児童十数名については、3階図書館で預かりを実施した。最初の内は本を読んだり、宿題をしていたり、友だちと読み聞かせをしていたが、走り回ったりかくれんぼと思われる遊びをしている児童もでてきて、落ち着きのない状況となっていた。午後4時前に職員が不在となって以降、本児童は北側窓の下部にあった本棚に上がり、さらに開いていた窓の窓枠に、室外を背に座るなどしていた直後に転落した。事故直後は、呼吸停止、心停止状態であったが、心臓マッサージと人工呼吸を行い、救急車を要請、専門の医師と看護師がヘリコプターで到着し、救急救命処置を行ったが、同日死亡した。

〔VI〕 通学中

(1) 登校中

① 徒 歩

24死-12	小4年・女	突心臓系
--------	-------	------

自宅を出て登校中、急に胸が痛くなり、通学途中の道路で倒れた。救急車で病院搬送後、人工心肺をつける手術を受けたが、数日後に死亡した。

(2) 下校中

① 徒 歩

24死-13	小2年・男	溺死
--------	-------	----

帰りの会が終わり下校する。本児童は湖の遊歩道を歩いていた。遊歩道では、他の児童とカエルを捕まえる等して神社まで行った。本児童が神社のそばの湖で亀が見たいと言ったが、他の児童は帰ると答え、別行動となった。事故現場付近は、通学路と至近距離にあり隣接している。通りかかった時に翌日の学習のために立ち寄ったことも考えられる。18時過ぎ、家族から帰宅していない連絡が入り、湖周辺の搜索の結果、溺れている本児童を発見し、病院で死亡が確認された。

2 中学校における死亡の事例

〔Ⅰ〕 学校行事

(1) 修学旅行

24死-14

中3年・女

突心臓系

2泊3日の予定で修学旅行に参加。1年以上前から、食欲が減少しはじめ体重も減少し、体力も落ちたため、母親が同行していた。前日は母と見学をしたり、友達と旅館で写真を撮ったりし、変わりなく過ごす。翌朝、一緒に就寝していた母親から担任教諭に異変を知らせる連絡がある。応急処置を行い、すぐに病院に搬送されたが、心肺停止が確認され死亡した。

〔Ⅱ〕 課外指導

(1) 体育的部活動

① サッカー・フットサル

24死-15

中1年・男

突心臓系

校庭でボールを使ったトレーニングをしたあと、学校の周りを走る練習を行った。1周約1,400mを3周走ることになっていたが、2周目に入っても脇腹をおさえスピードダウンし、歩くようになった。その後、胸のあたりをおさえながらフラフラと歩き（進行方向左側にあるフェンス沿い）、側溝のふたがないところで前のめりに倒れた。顧問と養護教諭が駆けつけ、すぐに心臓マッサージ・AEDを行い、病院に搬送、処置を受けたが、翌日死亡した。

② テニス（含ソフトテニス）

24死-16

中2年・男

突大血管系

午後1時より、テニス部の練習を開始し、いつものように800mのランニング、乱打20分、休憩を挟みサーブレシーブ30分、休憩後ゲーム2試合というメニューを午後4時に終了し、特に変わった様子もなく徒歩で帰宅途中、突然歩道上で倒れ意識を失い、救急車で搬送された。一命は取り止めたが後遺症が残り、手術を繰り返し継続治療を行っていたが、数年後に死亡した。

〔Ⅲ〕 休憩時間

(1) 昼食時休憩時間中

24死-17

中2年・女

突心臓系

本生徒は普段どおりに登校し、午前中の授業を受け、給食も完食した。給食の片付けをした後、用便のため3階トイレの個室に入る。トイレに入ったのを見た他の生徒がしばらくして声をかけたが反応が無く、倒れている様子であったため教諭を呼んだ。すぐに駆けつけ、救急救命処置をしながら、病院へ搬送集中治療室で治療を受けたが、数十日後に死亡した。

〔Ⅳ〕通学中

(1) 登校中

①徒 歩

24死-18	中3年・男	内臓損傷
--------	-------	------

朝、登校するためにいつもどおりに学生鞆を持ってマンション8階にある自宅を出たが、6階と7階の間から飛び降りた。その後、入院加療したが、数日後に死亡した。

②鉄 道

24死-19	中3年・女	頸髄損傷
--------	-------	------

当日朝、通学路である最寄り駅より乗車し、途中の駅で下車した。目撃談などによれば、自らホームを降りて線路内に入り、通過の急行電車にはねられ即死をしたとのことである。

(2) 下校中

①徒 歩

24死-20	中3年・男	全身打撲
--------	-------	------

本生徒は普通に登校し、1校時は英語の授業を受け、2校時の保健体育の授業はいつも第一相談室で過ごしていたために、職員室へ鍵を受け取りに行った。その後、本生徒が自宅マンション前の駐車場で倒れているのを近くの住民が発見し通報する。救急車にて医療センターへ搬送され処置を受けるが、死亡が確認された。マンションから転落したものと思われる。

24死-21	中3年・女	全身打撲
--------	-------	------

短縮授業4限・終学活終了後、美術室にて卒業アルバムの部活動集合写真を撮影後、午後1時過ぎに1人で下校する。下校途中、マンション9階と10階の階段踊り場（高さ約24.8m）より飛び降りたものと思われる。すぐに救急搬送され、治療を受けるも約2時間後に死亡した。

3 高等学校・高等専門学校における死亡の事例

〔Ⅰ〕 各教科等

(1) 体育（保健体育）

① 持久走・長距離走

24死-22	高3年・女	突中枢神経系
--------	-------	--------

体育の授業で校外持久走（約2.7km）を実施していた。教員2名で指導をしていた。事前の健康観察では体調不良等を訴える生徒はいなかった。準備運動後、全員がスタートし、巡回指導係の教員がスタートから約650mの地点で「頭が痛い」と訴える本生徒を発見した。5m～6m離れた軒下に移動させ、「先生が戻るまで休んでいるように」と伝え、後方の巡回指導を行った。本生徒が休んでいた地点に戻ったときには、横に倒れた状態だった。声かけには微かに反応したが、他の教員に連絡し救急車を要請した。救急車が到着するまでの間、本生徒のケアをしているとき、倒れた際にできたと思われる右側頭部の瘤を両教員が確認している。救急車で病院に搬送、他の病院に移送し治療を受けたが、数日後に死亡した。

〔Ⅱ〕 学校行事

(1) 遠足

24死-23	高3年・女	突中枢神経系
--------	-------	--------

遠足で、テーマパークに行き、アトラクションに友達7人と乗車中に意識不明の状態となった。停車後、すぐに病院に搬送し、脳外科のある他の病院へ転送され、治療を受けたが同日死亡した。

(2) その他

24死-24	高3年・女	突大血管系
--------	-------	-------

防災訓練で、校庭に集合して消火器の実施体験中に身体に不調をきたして、座り込んだ後、倒れた。意識不明になり、救急車で病院に運ばれ、その後、転院し、入院加療を受けたが、数日後に死亡した。

〔Ⅲ〕 課外指導

(1) 体育的部活動

① サッカー・フットサル

24死-26	高2年・男	突中枢神経系
--------	-------	--------

放課後、部活動に参加。雨天時の練習メニュー（テニスコート周辺約230mのジョギング10回、食堂裏から体育館まで坂道約70mのダッシュ10回）を約30分行った後、手洗い場前フロアに水分補給に行ったときに突然うつ伏せに倒れた。直ちに救急車を要請し、緊急手術を受けた。入院加療を続けたが、数日後に死亡した。

②テニス（含ソフトテニス）

24死-27	高2年・男	突心臓系
--------	-------	------

部活動で、他校との練習試合中、ボレーでポイントを取り、小走りで次のプレーに移ろうとした瞬間、急に前のめりに倒れ込む。顧問らがすぐに駆け寄り、本生徒の状況を確認。意識・呼吸の無い状態が続いたので、救急車を要請をし、AEDを含め蘇生法を開始した。病院に搬送したが、同日死亡した。

③野球（含軟式）

24死-25	高1年・男	熱中症
--------	-------	-----

野球部部活動で、周辺のランニングを実施した。13時45分頃に全員で出発して折り返し地点に給水所を設け、生徒全員が給水したことを顧問教諭とマネージャーが確認した後、車で顧問がランニングコースを見回った。その後、全員が帰ってきたと思い、校内グラウンドにてミーティングを実施後、投球練習と素振り等の技術指導を行い、19時頃に解散した。翌日早朝、保護者からの連絡で、本生徒が帰宅していないことが判明し捜索願を出した。警察官、学校関係者と野球部生徒が捜したところ、ランニングをした市道路から外れた7m下の斜面で本生徒の遺体が発見された。

④ラグビー

24死-28	高2年・男	熱中症
--------	-------	-----

顧問の指導・監督のもと、インターバルトレーニング中に気分が悪くなり意識を喪失した。直ちに病院に搬送、治療を受けるが、数日後に死亡した。

⑤登山

24死-29	高2年・男	熱中症
--------	-------	-----

山岳部の月例登山で、7時30分に登山開始。途中休憩をとりながら頂上付近に到着。20分間の昼食休憩をとった後下山を開始。40分後に10分間の休憩をとった。各自が給水等を行い、再び出発し35分経過した頃、本生徒の様子がおかしいので、顧問がリュックを取り外そうとしたところ、倒れかかってきてそのまま意識不明となった。倒れる1分位前まで普通に下山しており、顧問も同行の生徒も全く異常に気付かなかった。ヘリコプターで病院に搬送され集中治療室で治療を受けるが、数日後に死亡した。

（2）文化的部活動

24死-30	高2年・女	突大血管系
--------	-------	-------

部活動が終わり、帰宅の準備をしていたところ、本生徒は気持ちが悪いと訴え、母親に連絡をしてもらい迎えを待っていた。その後、容態が急変。本生徒の状況が変わらないので、他の生徒が教師に連絡し、担架での移動中呼吸が停止した。救急車を要請し、AEDを準備したのと同時に呼吸が回復した。救急車が到着し、救急隊員による心肺蘇生法開始。病院へ搬送するが、同日死亡した。

〔Ⅳ〕 休憩時間

(1) 休憩時間中

24死-31	高1年・男	全身打撲
--------	-------	------

校舎内の4階ベランダから転落した。当時は休み時間で、クラスの他の生徒は授業を受けるため移動しており、目撃者はいなかった。病院に搬送するが、同日死亡した。

〔Ⅴ〕 寄宿舍にあるとき

24死-32	高1年・男	突大血管系
--------	-------	-------

部活動練習中のケガの治療で午後9時過ぎに寮に帰り自室で寝ていた。午前0時に熟睡していることを確認。午前8時ごろに母親が本生徒宛に電話で会話したらしい。午後2時過ぎに他の生徒が様子を見に行ったところ、異変に気が付き救急車を要請したが、既に死亡していた。

24死-33	高1年・男	内臓損傷
--------	-------	------

SHRの時、登校していなかったため担任が授業終了後、寮に行くと部屋におらず、周囲を見て回っていた時、寮の裏に倒れている本生徒を発見した。出血していたので、すぐ救急車を呼び、病院に搬送したが、同日死亡した。

〔Ⅵ〕 通学中

(1) 登校中

① 鉄道

24死-34	高1年・男	頭部外傷
--------	-------	------

登校中、自宅の最寄り駅で線路に転落し、電車にはねられ即死した。

24死-35	高2年・男	全身打撲
--------	-------	------

本生徒はいつもどおり自宅から駅に自転車で向かい、駅の駐輪場に止め、徒歩で踏切を渡って駅に向かったが、踏切の遮断機が降りていた。自分が乗る電車が近づいていると思い急いだと思われるが、遮断機をくぐって踏切を横断しようとした時、電車が踏切に差し掛かり、踏切内にいた本生徒と接触した。救急車で搬送されたが、当日死亡した。

② 自転車

24死-36	高2年・男	溺死
--------	-------	----

本生徒は普段どおりに起床し、考査開始時間に間に合うように自転車で自宅を出発したが、橋の下の川底に沈んでいるのを通行人が発見した。病院に救急搬送されたが、同日死亡が確認された。

(2) 下校中

① 鉄道

24死-37	高1年・女	全身打撲
--------	-------	------

本生徒は、遮断機をくぐって踏切内に入り普通電車にはねられ死亡した。

(3) 通学に準ずるとき

①徒 歩

24死-38

高3年・女

突心臓系

高等学校総合体育大会が行われていた。当日、本生徒は応援活動のために級友3人と駅で待ち合わせをしていたため、最寄りのバス停へ歩いて向かった。その後、車で通りかかった父親が路上で倒れている本生徒を発見した。直ちに119番へ通報し、呼吸が止まっていたので胸骨圧迫と人工呼吸を行った。病院に運ばれたが、同日死亡した。

4 特別支援学校における死亡の事例

〔Ⅰ〕 学校行事

(1) 競技大会・球技大会

① バスケットボール

24死-39	養高3年・男	突心臓系
--------	--------	------

バスケットボール大会に参加した。試合前のウォーミングアップや第一試合の様子は通常の様子と変わりはない。第二試合目が開始し、その後3分が経過した頃、力が抜けるように前に倒れた。一度起き上がろうとしたが、再度力が抜けるように前かがみになりながら倒れ、教員が走り寄り、呼びかけたが反応がなかった。救急隊が到着するまで、心肺蘇生やAEDを実施した。病院に搬送後、入院加療を続けたが、数日後に死亡した。

(2) 修学旅行

24死-40	養高3年・女	突大血管系
--------	--------	-------

修学旅行に参加した。1日目は昼食は食わず水分を少量摂取した。バス移動中は乗り物酔いのため、吐き気があった。夕食は、水分とお粥など、少量摂取した。就寝後、夜中1時頃より吐き気があり、2日目の朝4時に緑色の胆汁様のものを嘔吐した。熱が38.1度あった。6時から8時の間、唾液が混ざった薄茶色のものを少量嘔吐した。同行の医師の指示で、座薬を使用した。病院へ受診するため保護者に迎えを依頼し、保護者の車で搬送中の容態が悪化し、病院で治療を受けたが、翌日、死亡した。

〔Ⅱ〕 寄宿舎にあるとき

24死-41	養高3年・男	突心臓系
--------	--------	------

寄宿舎にあって、朝の服薬時間が近くなったため、就寝中の本生徒を起こしに行くとチアノーゼの状態だったため、てんかん発作と思い、気道確保しようと抱き起こした。しかし、その際、痙攣がなかったため通常のとてんかん発作と違うことに気がつき、脈拍と呼吸をみたが確認できない状態であった。

24死-42	養高3年・男	突大血管系
--------	--------	-------

起床時間になっても起きてこないため、寄宿指導員が部屋へ声をかけにいくと、意識がなかった。脈もなく、心音も聞こえなかったため、救急車を待つ間、蘇生処置を行った。病院に搬送後、処置を受けるが、同日死亡が確認された。

5 幼稚園・保育所における死亡の事例

〔I〕保育中

24死-43	保1歳・男	窒息死（溺死以外）
--------	-------	-----------

おやつ時刻（メニューは俵型おにぎり1つ・白玉みたらし団子（直径約3cm）2つ・豆乳・麦茶）になり、着席し、食べ始める。本園児はおにぎりから食べ始めるが、食の進みが良くなく、熱っぽさを感じた保育士が検温（37.4度）した。体温計を棚に置く為に離席し、本児の連絡ノートへ検温の記録をする。この間に本児は白玉団子を口に入れたらしく、苦しみ出す。直ちに背部タッピングを行うが次第にチアノーゼが始まり意識を失う。白玉団子を除去するが、意識は回復せず、背部叩打、心臓マッサージを続ける。救急車で搬送、集中治療室で処置を受けるが、数日後に死亡した。

24死-44	保1歳・女	突大血管系
--------	-------	-------

本児は、登所時には体温が37度4分あり、その後の検温で39度2分となったため、保護者に迎えに来るよう連絡をするが、母親に連絡つかず、父親へ連絡した。午睡中に一度目を覚ますが、再び眠りにつく。13時頃午睡中検温すると、37度5分であった。父親の迎えにあわせ、抱き起こす際、手足の脱力、顔面蒼白の状態。すぐに119番通報するとともに、人工呼吸・心臓マッサージを開始し、同時にAEDを使用しつつ救急隊員が到着するまで、人工呼吸・心臓マッサージを続け、救急搬送したが、同日、搬送先の病院で死亡が確認された。

24死-45	保2歳・女	窒息死（溺死以外）
--------	-------	-----------

11時過ぎに食事を始め、完食。その後、紙芝居等を見て12時過ぎにふとんに入る。仰向けでゴロゴロしていたが少しして入眠する（顔はやや横向きで俯せ、寝付く時はこの姿勢が多い）ぐっすり眠ったのを確認、保育士が体位を変換すると、口唇は青く、名前を呼んでも反応がないので、人工呼吸と心臓マッサージを行うと同時に脈を確認したが無かった。病院に搬送、蘇生処置に反応せず、死亡が確認された。

24死-46	保2歳・女	窒息死（溺死以外）
--------	-------	-----------

午後のおやつ時間に白玉入りフルーツポンチを食べ始めたところ、少しして咳き込み苦しそうな様子で牛乳を吐き出したので、近くにいた保育士が気づき、上半身を下に向け背中を叩くと牛乳を吐き出したが、まだ苦しそうだった。おやつの入っていた容器を見ると白玉団子がなく、喉に詰まらせていることが予想できた。別の保育士が更に上半身を低く、下半身を高くして強めに叩いたが異物が出てこないため、すぐに119番通報し、救急車出動要請をすると同時に保護者に連絡を取った。その間も異物を取り除く作業を続けるが、次第に意識がなくなり、青ざめていたので、横向きに寝かせた。救急車到着後、異物除去作業を行い、入院治療したが翌月死亡した。

24死-47	保3歳・男	突中枢神経系
--------	-------	--------

本児の連絡帳に「旅行に出掛けたためか疲れている様子」と記入されていたため、様子観察していた。10時頃本児は、念のため保育室で過ごすこととした。検温の結果38.9度の発熱が認

められ、すぐに担任が緊急連絡先の祖母宅へ連絡した。園長がクラスに行くと、本児のけいれん発作が始まる。119番通報したあと、母親に連絡、けいれん発作は止まるが、意識は戻らない。園長と担任が救急車に乗り込み病院に搬送。その後、小児科医師に任せ、そのまま入院したが、翌日死亡した。

24死-48

幼5歳・男

溺死

お泊り保育を実施中、川遊びを終え中洲側から宿舎側の岸へ渡っている時、急な増水により流される。川岸伝いに追いかけるが見失う。その後、約200m下流で発見される。すぐに救急車で病院に搬送したが、死亡が確認された。